

気候変動適応地域プロジェクト	
オーガナイザー	白井信雄（山陽学園大学 地域マネジメント学部 教授）
全体司会	下村委津子（認定 NPO 法人環境市民 副代表理事）
概要	<p>気候の非常事態が実感されるなか、気候変動の原因である二酸化炭素等の排出削減（緩和策）とともに、緩和策では避けられない地域への影響に対する適応策が必要となっています。しかし、行政内部での部署間調整により適応策を検討するだけでは不十分です。本プロジェクトでは、住民や事業者が主体的に適応策を学び、実践を立ち上げていく、適応策の共創とネットワークづくりを進めます。</p> <p>グループセッションでは、「気候変動の地元学」を活かした事例や先行する地域適応センターの取り組みなど、今後ますます地域に取り入れたい事例を紹介し、意見交換します。気候変動適応を通じた持続可能な地域づくりを目指し、ぜひ一緒に取り組みましょう。</p>
登壇者	<p>野口正明氏（NPO 法人ふじの里山くらぶ） 相模原市藤野地域における「気候変動の地元学」の実践の経緯と展望を紹介。</p> <p>浜田崇氏（長野県環境保全研究所 主任研究員） 信州気候変動適応センターにおける市民や高校生との適応策の共創を紹介。</p> <p>服部乃利子氏（静岡県地球温暖化防止活動推進センター ゼネラルマネージャー） 静岡県気候変動適応センターとの連携による事業(市民ワークショップ、カード作成等)を紹介。</p>
総合統括	松下和夫氏（京都大学名誉教授）
進め方	<p>15：00 オーガナイザーより趣旨説明と「気候変動の地元学」の事例紹介</p> <p>15：15 話題提供①（野口正明氏）</p> <p>15：30 話題提供②（浜田崇氏）</p> <p>15：45 話題提供③（服部乃利子氏）</p> <p>※参加者は各話題提供者への質問がある場合、「チャット」に書き込んでください。</p> <p>※オブザーバー参加の適応策に取り組む高校生からも意見を出してもらう予定です。</p> <p>16：00 質疑応答タイム（チャットに書き込まれた質問への回答をさせていただきます）</p> <p>16：15 話題提供者を交えた小グループでの意見交換</p> <p>ZOOM のブレイクアウトルーム（3ルーム）を設け、話題提供者を交えて、次のことを話し合ってもらいます。各ルームの進行は話題提供者が行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気候変動の適応策を多くの市民や事業者に知ってもらい、適応アクションを起こしてもらうためには、どのようにしたらよいか。 ・気候変動の適応策の「共創」を進めるためには、地方自治体はどのような役割を果たすべきか <p>16：45 各ルームの意見交換の結果の共有とまとめ</p> <p>17：00 終了</p>
参加者の方へ	<p>気候変動の適応策に詳しくない方は、下記の「気候変動適応情報プラットフォーム」を見て、事前学習をしておいてください。</p> <p>https://adaptation-platform.nies.go.jp/</p> <p>「気候変動の地元学」については、下記のブログを見ておいてください。</p> <p>https://blog.goo.ne.jp/shirai01/e/5da02148dd929f6821731a5b0740619a</p>

*このグループセッションは、環境首都創造 NGO 全国ネットワークと共催で実施し、本セッションの一部は家環境再生保全機構地球環境基金の助成金を使用しています。